

(特非)和歌山箕島球友会理事長・マツゲン箕島硬式野球部部長の桑原太郎です。

新春を迎え、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げますとともに、本年も宜しくお願ひ致します。

(特非)和歌山箕島球友会、マツゲン箕島硬式野球部の運営に関しまして、賛助会員の皆様をはじめ、多くの方々に格別のご指導、ご協力を頂いておりますことを厚くお礼申し上げます。

さて、去年はワールドカップにおいて奇跡の1mmで見事決勝トーナメントに進出したものの、惜しくも目標であるベスト8には届きませんでした、「ドーハの歓喜」と日本中が大いに盛り上がりました。

アスリートたちの、「あきらめない力」や「ボールに向かう懸命な姿」から、多くの「感動」「勇気」「希望」を頂き、改めてスポーツの偉大さを感じたものでした。

さて、今年の干支は、癸卯（みずのとう）です。「癸卯」は静かで温かい恵みの雨が降り注ぎ、草木を生き生きと蘇らせるとあり、また素早い動きとジャンプ力が特技のうさぎは、ことわざに「うさぎの上り坂」とあるように、良い方向に進む躍動感ある生き物です。

マツゲン箕島硬式野球部も、去年味わった悔しさを糧に温かい恵みの雨で蘇り、「うさぎの上り坂」にあやかり、「あきらめない力」を前面に出し、上り坂を突き進み、再び全国の頂をつかみ取る事と信じております。

新型コロナウイルスの感染拡大も第8波に入り、まだまだ耐え忍ぶ年が続くかもしれませんが、今まで培った新型コロナウイルス感染症対策を継続しながらウイズコロナからアフターコロナへ移行できる事を切に願ひながら、野球を通じて皆様方と地域を盛り上げていければと考えております。

最後になりましたが、本年も皆様方にとりまして、幸多き年となりますことを心から祈念申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。

